

平成29年度事業計画

新潟県から受託した発掘調査を実施し、埋蔵文化財の調査研究を行うとともに、埋蔵文化財に親しむ機会の提供・普及啓発を図り、文化振興への寄与を目的に以下の事業を推進する。

1 事業及び推進体制

(1) 事業

- ア 埋蔵文化財の調査及び研究
- イ 埋蔵文化財保護思想の普及
- ウ 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修
- エ 出土遺物の保存処理
- オ 埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行

(2) 組織

ア 評議員会(4)

6月 定時評議員会 事業報告、決算計算書類の承認

イ 理事会

理事長(1) ————— 専務理事(1) ————— 理事(2)
 監事(2)

4月 臨時理事会 専務理事の選定

5月 第1回定例理事会 決算の承認等

3月 第2回定例理事会 事業計画、収支予算の承認

ウ 事務局(職員数33 内訳：正職員1、県派遣職員12、嘱託員20)

事務局長 ——— 総務課長 ————— 班長(1)、嘱託員(3)

【本発掘調査・整理】

——— 調査課長 ————— 課長代理(2) ——— 専門調査員(2)、班長(2)、嘱託員(8)

【普及・資料・保存】

——— 普及・資料課長 ————— 課長代理(2) ——— 嘱託員(9)

エ 事務所

本 部 新潟市秋葉区金津93番地1
 新潟県埋蔵文化財センター

2 発掘調査受託事業

民間調査組織を活用し、以下の発掘調査及び整理・報告作業を実施する。

(1) 本発掘調査 25,940 m² 【資料1】

- 国交省直轄国道関係 : 4 遺跡
- 県営湛水防除事業 : 1 遺跡 (平成28年度繰越事業)

(2) 整理・報告作業【資料2】

- 整理編集・報告書刊行 : 6 遺跡

3 保存処理【資料3】

ア 木器保存処理

大型木製品205点、小型木製品1,243点の保存処理 (トレハロース含浸) を行う。

イ 金属器保存処理

鉄製品58点、青銅製品175点の保存処理を行う。

ウ 木器・金属器とも、保存処理による収縮・変形への対処・補正のため、処理前に実測・写真撮影等の記録作業を行う。

4 資料整理・管理

発掘調査による出土品及び記録類を保管するとともに、他機関の報告書や専門図書を考古学・歴史学などの学習・研究資料として、研究者・県民が活用できる場を提供する。

ア 保管

- ・ 出土品・記録資料の保管
- ・ 図書類の保管、リポジトリ準備

イ 記録類の整理

- ・ 写真記録の体系的な整理
- ・ 図面のマイクロフィルム化作業

ウ 資料の活用・貸出し・閲覧

- ・ 出土品、写真等の貸出し
- ・ 埋蔵文化財に関する調査・研究を進めるため、情報・資料・図書等の収集を行う。

エ 再整理

復元からの経年により劣化が著しい土器の修復、収納材の点検交換、管理台帳の整備を行う。

5 普及啓発事業

現地説明会、遺跡発掘調査報告会等の開催や、学校等が行う体験学習支援などの普及事業を行うとともに、発掘調査報告書や広報紙等の刊行により、調査結果を県民に還元する。

(1) 普及啓発

ア 埋蔵文化財センター内の展示

常設展示のほか、企画展等を開催する。

- イ 埋蔵文化財センター利用者の見学案内
来館者の希望に応じて、埋蔵文化財センターの展示品等の説明案内を行う。
- ウ 現地説明会の開催
発掘調査現場において、調査中の遺構・遺物を公開し調査成果を報告する。
- エ 事業団主催事業

【企画展】

『縄文の造形美－六反田南遺跡－』

- ・会 場：埋蔵文化財センターエントランス展示コーナー
- ・期 間：平成29年4月14日～6月25日
- ・内 容：文化庁主催の企画展「発掘された日本列島2016」に出品された六反田南遺跡出土遺物の展示・解説
※ センター内展示終了後、十日町市博物館、糸魚川市フォッサマグナミュージアム、新潟県歴史博物館の3施設で巡回展を行う。

『東日本大震災復興支援発掘企画展』（文化行政課との両主催事業）

- ・会 場：埋蔵文化財センターエントランス展示コーナー
- ・期 間：平成29年7月14日～9月3日
- ・内 容：宮城県出土品及びパネルの展示

『発掘された聖籠・新発田の遺跡』

- ・会 場：埋蔵文化財センターエントランス展示コーナー
- ・期 間：平成29年9月15日～平成30年3月25日
- ・内 容：県教委調査の聖籠町・新発田市の7遺跡の出土品や現地写真を展示

【講演会】

- ・新潟県埋蔵文化財センター講演会
- ・会 場：埋蔵文化財センター
- ・内 容：新潟県内の調査例や出土遺物、東日本大震災復興支援発掘出土品関連の講演
(4月30日から30年3月18日の間で全12回実施予定)

【第22回 遺跡発掘調査報告会】

- ・会 場：新潟県生涯学習推進センター
- ・日 時：平成30年3月4日（日）
- ・内 容：平成28、29年度発掘調査の報告及び展示、ミニシポジウム「丸木舟の考古学」

【親子考古学教室】

- ・場 所：埋蔵文化財センター
- ・日 時：8月14日（月）、8月20日（日）
- ・内 容：センターの仕事・展示品説明、勾玉作り、火起こし、土器作り等

【まいぶん祭り】

- ・場 所：埋蔵文化財センター
- ・日 時：10月1日（日）
- ・内 容：勾玉作り、火起こし、バックヤードツアー等

【少年少女考古学教室】

- ・場 所：埋蔵文化財センター
- ・日 時：6月18日（日）を初回とし、全4回
- ・内 容：勾玉・土器作り、火起こし、石器使用、拓本、スタッフ体験等

【遺跡発掘地での展示会】

- ・場 所：ふしんの里記念館
- ・日 時：平成29年7月22日～9月3日
- ・内 容：地元教育委員会と連携し、発掘された出土品に触れる機会を提供する。
- ・関連イベント：8月16日、展示解説・子供考古学体験教室を開催

【体験学習・出前授業】

学校教育の場として埋蔵文化財センターの施設・設備を提供し、火起こし、勾玉作り、石器使用などの体験、教材貸出し及び展示見学などの校外学習支援や、希望する学校に指導者を派遣し出前授業を行う。

【職場体験・インターンシップ等の受け入れ】

中学生や高校生に埋蔵文化財に関連する職種や内容を解説、体験してもらい、将来の進学や就業選択の一助となるよう支援する。

オ その他施設等との協力事業

「にいつ花ふるフェスタ」への参加

にいつ花ふるフェスタ実行委員会の主催事業に「花と遺跡のふるさと公園」「石油の里公園」エリア内の各施設とともに参加し、火起こし、勾玉作り、展示解説などを行う。

- ・会 場：埋蔵文化財センター
- ・期 日：平成29年6月4日（日） 9：00～16：00

「フラワースタンプラリー」への参加

公益財団法人新潟県都市緑化センターなどが主催する「フラワースタンプラリー」に参加し、来場者には抽選で景品を贈呈する。

- ・期 間：未定

(2) 広報紙・調査研究誌等の刊行

ア 『埋文にいがた』99～102号

刊 行：年4回（6・9・12・3月） 2,200部（各号）

配布先：小・中・高校、市町村教育委員会、図書館、博物館、都道府県教育委員会、その他関係機関

イ 『年 報』

刊 行：年1回 500部

配布先：市町村教育委員会、図書館、博物館、都道府県教育委員会、その他関係機関

エ ホームページ・メールマガジン、ソーシャルメディアによる情報の提供

埋蔵文化財センターの催し物や事業内容、日々変化する発掘現場の様子や、周辺施設等の利用もあわせた埋蔵文化財センターの活用資料等を積極的に情報提供する。

6 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修

日々進展している内外の各種情報を共通認識し情報の共有化を図るとともに、発掘調査業務に対して迅速に対応するため、職員研修への参加及び安全衛生研修等を実施する。

また、要請に応じて市町村 発掘調査技術指導等を行う。

(1) 市町村発掘調査技術指導

要請に応じて随時実施する。

(2) 職員研修

- ア 全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修
- イ 関東甲信越静地区埋蔵文化財担当職員共同研修
- ウ (独)奈良文化財研究所主催研修
- エ 県教委主催専門職員研修
- オ 文化庁埋文担当職員等講習会

(3) 安全衛生研修等

- ア 安全衛生講習（6月）
- イ 火災訓練（9月）

7 埋蔵文化財センターの管理運営

指定管理者として、埋蔵文化財センターが快適な環境のもとでの利用が行われるよう、センターの運営及び施設・設備機器の保守管理を行う。

なお、新潟県との埋蔵文化財センターの管理運営に関する協定期間は、平成26年度から平成30年度までの5年間となっている。

8 全国埋蔵文化財法人連絡協議会

- (1) 総 会：神奈川県（6月予定）
- (2) 役員会：山口県（5月予定）、東京都（12月予定）
- (3) 研 修：愛知県（11月予定）
- (4) 中部・北陸ブロック連絡会議：長野県（10月予定）

平成29年度 調査計画

[本発掘調査]

事業者	事業名		遺跡名	所在	調査対象 (㎡)	現地期間	28年度当初 (㎡)
国土交通省	新潟国道	日本海沿岸 東北自動車道	上野遺跡	村上市	3,500	4～10月	
	長岡国道	8号柏崎BP	丘江遺跡Ⅳ	柏崎市	8,900	4～11月	
			丘江遺跡Ⅴ	柏崎市	2,180	8～11月	
		17号六日町BP	藤塚遺跡 余川中道遺跡	南魚沼市	3,400	4～9月	
	小 計				17,980		
新潟県	農地部	湛水防除	土橋北遺跡	阿賀野市	7,960	4～10月	
	小 計				7,960		
計					25,940		12,375

5遺跡

3遺跡

[整理・報告計画]

事業者	事業名	遺跡名	現地調査	29年度作業		
				整理	刊行	
国土交通省	新潟国道	49号阿賀野BP	境塚遺跡Ⅲ	H27	○	○
			蕪木遺跡	H26～27	○	○
	長岡国道	8号柏崎BP	丘江遺跡Ⅰ	H26	○	○
			丘江遺跡Ⅱ	H27	○	○
			山崎遺跡Ⅱ	H26～27	○	○
	高田河川	8号糸魚川東BP	六反田南遺跡Ⅵ	H22～25	○	○

6遺跡

※ その他、29年度現地調査の整理を行う。

平成29年度 保存処理計画

1 重点項目

- ① 大型木製品の保存処理・報告書作成遺跡出土遺物の保存処理
- ② 保存処理済の大型・小型木製品の整理・収納

2 保存処理対象遺物

* 箱:34×54×10cm / カゴ:90×150×60cm

遺物種類	分類	作業内容	対象遺物	数量
木製品		記録作成	平成28年度までに報告書が刊行した木製品 (269集下割Ⅵ・堂古・二反割Ⅱ、271集六反田南Ⅵ)	小型52点
			境塚Ⅲ、丘江、丘江Ⅱ、丘江Ⅲ	小型309点、大型129
		トレハロース含浸	146集西川内南・西川内北、148集西部、149集滝寺古窯跡、153集大坪	小型52点、大型43点
			境塚Ⅲ、丘江、丘江Ⅱ、丘江Ⅲ	小型747点、大型162点
			平成28年度までに報告書が刊行した木製品	小型52点
		表面処理・修復	平成28年度未了分(青田1、新町161、狐宮Ⅲ6、境塚Ⅲ224)	小型392点
			企画展・遺跡発掘調査報告会出展木製品	未確定
228集山岸・田伏山崎、251集 清水田、253集余川中道Ⅱ、254集箕輪Ⅱ 257集横マクリⅡ、258集山口野中Ⅱ、133集 青田(柱根ディスク試料)	134箱			
金属製品	鉄製品	記録作成～修復	117集赤坂山中世窯跡、120集下割、125集下沖北、128集仲田、133集青田、 137集蟹沢、138集五反田、139集余川中道、境塚Ⅲ、蕪木、丘江、丘江Ⅱ、丘江Ⅲ	58点 + α
	青銅製品	記録作成～修復	120集下割、125集下沖北、128集仲田、134集下割Ⅱ、138集五反田、 140集下沖北Ⅱ、境塚Ⅲ、蕪木、丘江、丘江Ⅱ、丘江Ⅲ	175点 + α

3 作業内容とスケジュール

作業内容		年月	H29										H30			
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
木製品 保存処理	～H28年度報告書刊行分台帳作成・洗浄・収納															
	小型槽含浸	28年度未了分、28年度報告書刊行分														
		境塚Ⅲ、蕪木、丘江、丘江Ⅱ、丘江Ⅲ														
	大型槽(古)含浸	境塚Ⅲ、蕪木、丘江、丘江Ⅱ、丘江Ⅲ														
		146集西川内南・西川内北、148集西部、149集滝寺古窯跡、153集大坪、報告会展示品												廃液		
大型槽(新)含浸	境塚Ⅲ、蕪木、丘江、丘江Ⅱ、丘江Ⅲ												廃液			
表面処理	H28年度処理分															
金属製品保存処理	H28年度報告書刊行分台帳作成・洗浄・収納															
	鉄製品・青銅製品の保存処理															
収蔵庫3・保管棟・ビニールハウスの点検(水換えなど)			随時													